

17 古文3 内容を読み取る

組	
番号	
氏名	

1 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

〔平成十四年 宮城県公立高校入試問題〕

ねたきもの^①。人のもとにこれよりやるも、人の返事^{かへりごと}も、書いてやりつる後、文字一つ二つ思ひなほしたる。とみの物縫^ぬふに、かしこう縫ひつと思ふに、針をひきぬきつれば、はやく^②尻を結ばざりけり。また、かへさまに縫ひたるも、ねたし。

(「枕草子」による)

※とみの…急ぎの かしこう…うまく
はやく…何とまあ かへさまに…裏返しに

① 右の文章中の「^①人のもとにこれよりやるも」とは、「人のところにこちらから送るのでも」という意味ですが、何を送るというのですか。もっとも適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 衣服 イ 道具 ウ 手紙 エ 日記

② 右の文章中に「^②尻を結ばざりけり」とありますが、何の「尻」を「結ばざりけり」であったのか、漢字一字で答えなさい。

③ 右の文章に述べられている作者の心情として、もっとも適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分ではよいと思ったことを非難され、腹立たしく思っている。
イ 自分がついっかりして失敗したことを、腹立たしく思っている。
ウ 自分の贈り物に心をこめることができず、腹立たしく思っている。
エ 自分の期待していた書物が手に入らず、腹立たしく思っている。

イ

糸

ウ